

2020年度 第15回

国家資格 キャリアコンサルタント試験

実技（論述）試験 問題用紙

実施日 ◆ 2020年11月1日（日）

試験時間 ◆ 14：30～15：20(50分)

★注意事項★

1. 本試験の出題形式は、記述式4問です。
【事例記録】を読み、設問ごとに解答用紙の記入欄に記述してください。
2. 解答用紙の所定欄に、氏名を記入し、受験者シールのバーコードシール1枚を必ず貼り付けてください。記載漏れおよび貼り忘れの場合は採点されません。
3. 試験中は、受験票、腕時計、筆記具（鉛筆、ペン、消しゴム）以外のもの（定規、メモ用紙、筆記具入れ等）は机の上に置かず、カバンの中などにしまってください。
4. 受験票は、机上の通路側に見えるように置いてください。
5. 試験室内では、携帯電話・スマートフォンなど全ての通信機器及び電子機器、時計のアラーム等、音の出る機器は使用禁止です。必ず電源を切り、カバンの中などにしまってください。
6. 試験中は、乱丁・落丁・印刷不鮮明に関する質問以外はお受けできません。
7. 不正行為があったときは、すべての解答が無効となります。
8. 試験終了の合図が告げられたら、直ちに筆記具を置き、試験監督者の指示に従ってください。
9. その他、試験監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は、失格となります。

【退出時の注意事項】

1. 試験開始後30分経過した時点で途中退出できます。途中退出する場合には、挙手し、試験監督者の指示に従ってください。問題用紙はお持ち帰りください。
2. 試験終了時刻5分前からは退出できません。試験終了後、試験監督者が解答用紙を回収しますので、着席したまま静粛にお待ちください。

- 2020年12月15日（予定）に、受験者全員に試験結果通知書を送付いたします。
- 合格者は、以下の登録試験機関のWebサイトに受験番号を掲載してお知らせします。
<https://www.career-shiken.org/result/>

厚生労働大臣登録試験機関

特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会

問題 次の【事例記録】を読み、以下の設問に答えなさい。解答は解答用紙の設問ごとに記述すること。

【事例記録】

* キャリアコンサルタントが今後の研鑽に生かすための、作成途中の事例記録

<p>相談者情報：</p> <p>Zさん、男性、41歳</p> <p>四年制大学の工学部を卒業後、中堅の情報サービス会社へ入社して19年目</p> <p>現在、課長職</p> <p>家族構成：妻38歳、子供2人</p>
<p>面接日時：令和2年11月 本人の希望で来談（初回面談）</p>
<p>相談の概要：</p> <p style="text-align: center;">（略A）</p>
<p>相談者の話した内容</p> <p>カッコ内はキャリアコンサルタントの発言</p> <p>現在、課長をしているが、最近になって、入社11年目と、8年目の中心メンバーが相次ぎ退職した。最初の1人は、評価や給与等の処遇の不満が理由との話で意志が固く、引き止めることも出来なかった。そのあとすぐに、もう1人からも退職の話があってショックを受けた。課のメンバー12名のうち、半分は契約社員や派遣社員なので、中心メンバーの相次ぐ退職で大きな穴が空き、今後どのように、仕事を進めたらよいか、課を運営したらよいか分からなくなり、自身のモチベーションは大きく下がっている。</p> <p>（ショックを受けられてモチベーションが低下しているのですね）</p> <p>部長に今後の課の運営や人の補充について相談しても「どこの部署も人が不足、すぐに補充は出来ない」と頭から言われ、一切動いてくれそうもなかった。その上、日頃からの部下育成や仕事への動機づけ不足、コミュニケーション不足があるのではないかと指摘されて、それ以降、相談はしていない。</p> <p><u>（部長からその様に指摘された時は、どの様なお気持ちだったのですか）【下線B】</u></p> <p>とにかく頭にきた。退職した2人の部下からは会社への不満として同じような話を聞かされた。部下が言う会社への不満は、給与・処遇等で、自分ではどうすることも出来ない問題であったし、自分自身も業務量が増えており、やむを得ず休日出勤をすることもある。成果に対するプレッシャーが強まっている中で、日頃、部下とゆっくり話す時間も無く、マネジメントには苦勞している。部長は職場の現状を見ていないと感じた。</p> <p>（業務量が増して、時間的な余裕もないのにと……、部長の指摘に対して憤りを感じているのですね）</p> <p>それに、最近人事からは、部下に残業をさせないよう強く言われている。その上、業務の効率化、生産性の向上、メンバーそれぞれが協働できる職場づくりなど、目の前の仕事で一杯であり、言われている課題は、そう簡単に進める事は出来ないテーマだ。自律性や主体性を持った部下を育てると言われるから、彼らに仕事を任せている。</p>

(課長としての様々な役割があるけれど、目の前の仕事で一杯だと感じているんですね。今後、どの様にして行こうと考えていらっしゃいますか)

とりあえず、一部の業務は協力会社へお願いするとして、そのあとは、どうしたらよいかは分からなくて……。

(以下略)

所感 (キャリアコンサルタントの見立てと今後の方針)

・【下線B】を質問した意図はZさんの を確認するために行った。

(以下略)

【設問】

※注意事項：解答は全て解答用紙の行内に記入すること。裏面等に記入したものは採点されません。

- 設問1 事例記録の中の「相談の概要」(略A)の記載に相当する、Zさんがこの面談で相談したいことは何か。面談記録を手掛かりに記述せよ。(10点)
- 設問2 事例記録の下線Bについて、このケースを担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で質問を行ったと考えるかを記述せよ。(10点)
- 設問3 あなたが考えるCLの問題(①)とその根拠(②)について、CLの言動を通じて、具体的に記述せよ。(20点) 2×10点
- 設問4 問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。(10点)

解答用紙

受験者 氏名	
-----------	--

受験者シールのバーコードシール
1枚をこの上に貼り付けてください。

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」(略A)の記載に相当する、Zさんがこの面談で相談したいことは何か。面談記録を手掛かりに記述せよ。

【設問2】 事例記録の下線Bについて、このケースを担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で質問を行ったと考えるかを記述せよ。

【設問3】 あなたが考えるCLの問題(①)とその根拠(②)について、CLの言動を通じて、具体的に記述せよ。

① 問題

② その根拠

【設問4】 問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2020.11)キャリアコンサルタント試験 実技(論述) 解答用紙